

高労発基 0701 第 2 号  
令和 2 年 7 月 1 日

一般社団法人高知県建設業協会長 殿

高知労働局長



今般の状況を踏まえた死亡労働災害の撲滅等労働  
災害防止に向けた意識の啓発について（依頼）

日頃より労働安全衛生行政に御理解・御協力いただきまして御礼申し上げます。

建設業については当局として死亡労働災害撲滅を目指して 13 次労働災害防止計画の重点業種に掲げる等、積極的な取組を進めているところです。また、貴会におかれましても傘下会員における労働災害防止のために日々御尽力いただいているところです。

さて、例年であれば、各団体・企業等において全国安全週間に関連して行われる大会・説明会等の活動により、労働災害防止の重要性について改めて認識を深め、意識を新たに各団体・企業等での労働災害防止のための取組を進めていただいているところですが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会・説明会等が中止又は縮小等される状況となっていることから、例年に比べて労働災害防止の意識啓発が図られにくい状況にあります。加えて、「三つの密」を回避するため、作業員間で一定以上の距離を確保するための不慣れな作業動線等による労働災害やマスク着用による熱中症等の労働災害にも注意が必要です。

また、県内の過去 10 年間の状況を見ると、建設業における死亡労働災害は 7～10 月の間に多く発生しています（別紙 1 図 2 参照）。

貴会におかれては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分留意したうえで、改めて下記の事項について、傘下会員に対し周知いただきますようお願いいたします。

記

- 1 建設業において最も多い事故の型である墜落・転落を防止するため、足場の適切な設置及び墜落制止用器具の適切な使用を徹底すること。
- 2 クレーン作業等を行うときは、移動式クレーン運転士免許、玉掛技能講習修了者等の有効な資格を有する者を就かせるとともに、安全装置の有効保持、定格荷重を超える荷重をかけて使用しないこと、アウトリガー等の適切な張り出し、及び、荷の落下するおそれのある場合のつり荷の下の立入禁止等に留意すること。
- 3 伐木作業を行うときは、改正された労働安全衛生規則（昭和 47 年労働省令第 32 号）等に基づき、チェーンソーによる伐木等の業務に就く労働者に特別教育を確実に行うこと。また、木や枝がらみの状態等を十分に確認し安全な倒木方向を確認する等、「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」を踏まえた措置を適切に講じること。
- 4 車両の点検整備、年齢による変化や飲酒が運転に与える影響の教育等、交通労働災害防止のための措置を適切に講じること。
- 5 その他、車両系建設機械や貨物自動車の路肩等からの転落、過重労働及び熱中症等の防止に関して、別紙 2 を参考に労働災害防止のための措置を適切に講じること。

以上

# 高知県における建設業の労働災害の発生状況

過去10年間の死亡労働災害のうち4割以上を占めている(図1)。  
 死亡労働災害は7月～10月の間に多く発生している(図2)。  
 休業4日以上での死傷災害の2割弱を占めている(図3)。  
 休業4日以上での死傷災害の3割が墜落・転落である(図4)。

図1 死亡労働災害発生状況 (過去10年計)

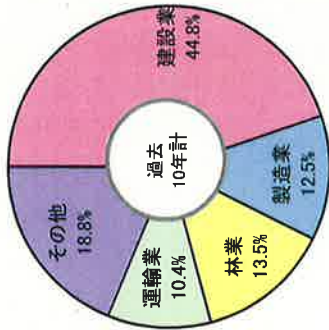


図2 月別死亡労働災害発生状況 (建設業 過去10年計)

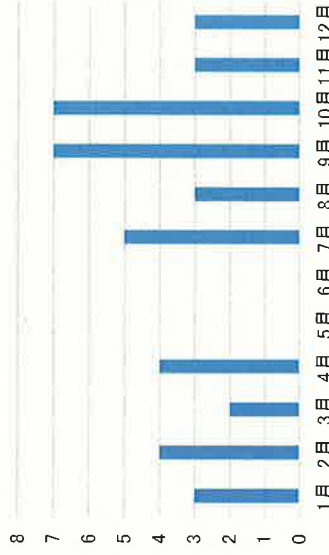


図3 休業4日以上での死傷労働災害発生状況の推移

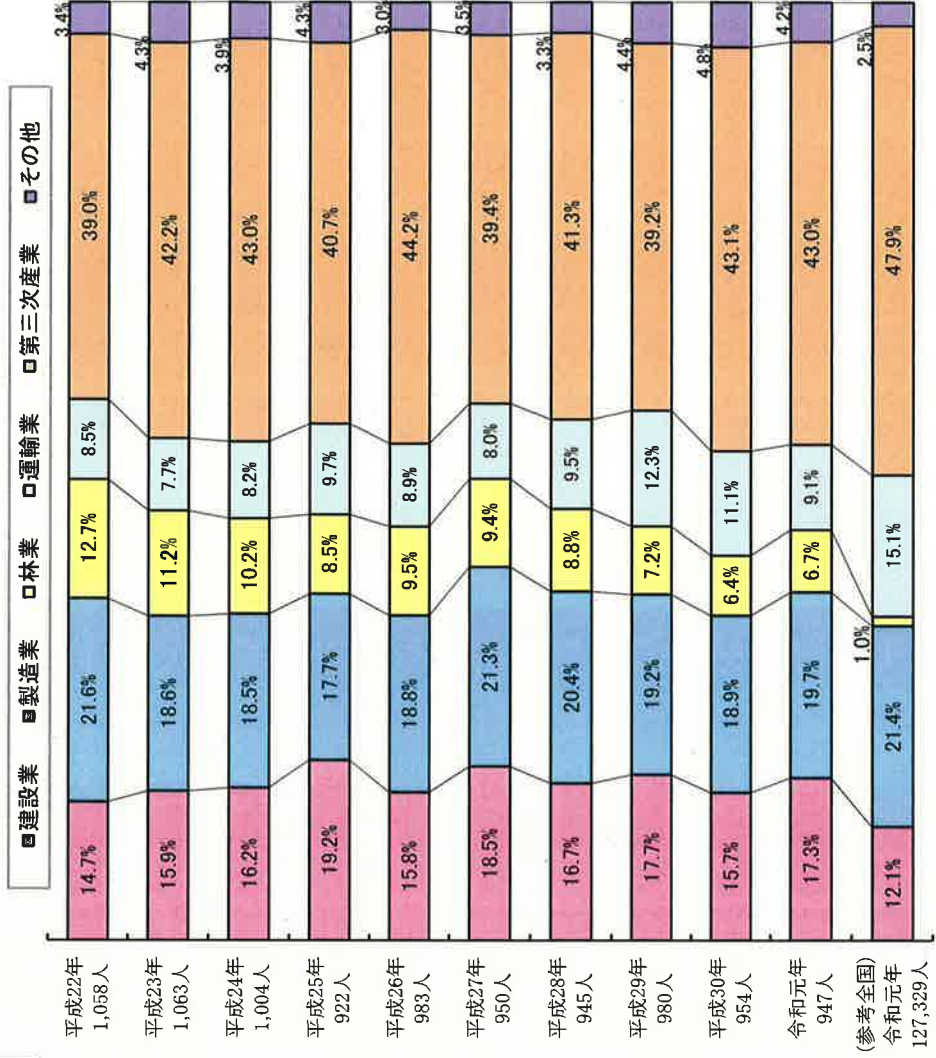
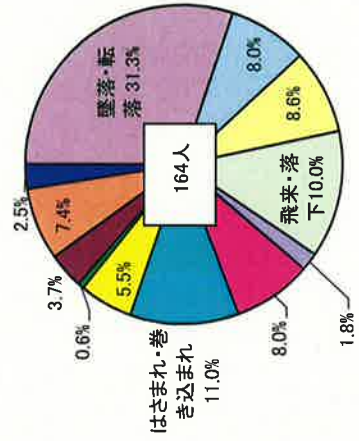


図4 事故の型別休業4日以上での死傷労働災害発生状況(平成31年/令和元年 建設業)



- 墜落・転落
- 転倒
- 激突
- 飛来・落下
- 崩壊・倒壊
- 激突され
- はさまれ・巻き込まれ
- 切れ・こすれ
- 高湿・低温の物との接触
- 交通事故
- 動作の反動・無理な動作
- その他



## 死亡災害発生状況(建設業)



高知労働局

番号	署別	発生日 (時刻)	業種	年齢 (性別)	事故の型 (起因物)	災害のあらまし
1	安芸	22. 2. 25 (9:25)	土木工事業	40歳 (男)	転倒 (解体用機械)	ブレーカ(機体重量1.5トン)を用いて掘削作業を終えた後、測量作業を行おうとした際、ブレーカが測量作業の支障となるため傾斜地を移動させていたところ、バランスを崩して転倒し、運転していた被災者がヘッドガードの支柱の下敷きとなった。
2	高知	22. 4. 17 (10:35)	土木工事業	61歳 (男)	墜落・転落 (トラック)	工事で発生した土砂を残土処理場まで運搬していたダンプトラック(最大積載量11トン)が、作業道の路肩から約50メートル下へ転落した。
3	須崎	23. 7. 13 (13:30)	その他の建設業	78歳 (男)	崩壊・倒壊 (建築物・構築物)	廃業した養豚場の飼料サイロ(FRP製、高さ5.2メートル)を解体する作業中、サイロを倒すためにサイロの鋼製支柱を溶断した後、被災者がサイロの下部で溶断後の支柱をハンマーで叩いたところ、当該サイロが倒れて下敷きになった。
4	須崎	23. 10. 7 (16:00)	道路建設工事業	41歳 (男)	墜落・転落 (地山・岩石)	道路開設工事において、先行伐採の終了した地山斜面上部の小道を歩行中、バランスを崩して約14メートル下の作業道上に転落した。
5	四万十	23. 10. 18 (16:00)	道路建設工事業	69歳 (男)	激突され (立木等)	林業用作業道の開設工事において先行伐採を行っていたところ、支障木(樅)を伐倒する際に複数あった幹が上方で癒着していたため、二本の幹に受口を取り、追い口を入れたあとに楔(クサビ)を入れていた時に同時に倒れ始めたが、途中でそのうちの1本が倒れる方向が変わったために伐倒作業を行った作業員が下敷きとなった。
6	須崎	24. 4. 12 (14:15)	土木工事業	71歳 (男)	おぼれ (その他の仮設物、建築物、構築物等)	船舶引揚用斜路の改修工事において、海水をせき止める簡易締め切り工に使用されていた土のう(重さ約1トン)に、移動式クレーンで吊り上げる際の目印を海中で取り付ける作業中、潜水業務(水深約3メートル、空気ボンベ使用)を行っていた被災者がおぼれた。 潜水時の器材が土のう等に引っかかったことが考えられるが、ウエイトベルトは海中に落ちていたものの、ボンベ内の空気残量は十分あり、レギュレータ等の作動も異常無いこと等から、おぼれた原因は不明である。

7	須崎	24. 7. 20 (14:00)	建築設備工事業	50歳 (男)	転倒 (掘削用機械)	車両系建設機械（ドラグショベル、機体重量3ト未満）を、道板を使用せずにダンプトラック（最大積載量3,750キログラム）へ積み込むため、バケットをダンプトラックの荷台（高さ1.17メートル）に接地し、アームを支えにしてクローラの前部を浮かせて荷台に斜めに乗せた後、上部旋回体を右旋回させたところ、車両系建設機械が後方に転倒したため運転していた被災者が車両系建設機械の下敷きとなった。
8	安芸	24. 9. 5 (08:30)	電気通信工事業	25歳 (男)	交通事故 (トラック)	現場事務所から作業現場にむけて3台のトラックに分乗して移動中、先頭の軽トラックが停車したため電柱を積載したトラックも停車したところ、最後尾の建柱車が追突。その際、積載していた電柱が建柱車の運転席に激突したため、運転していた被災者が死亡した。
9	高知	24. 9. 20 (15:54)	土木工事業	58歳 (男)	はさまれ・ 巻き込まれ (掘削用機械)	道路新設工事において、ダンプトラックで搬入してきた碎石をドラグ・ショベル等の車両系建設機械を用いて締め固めながら地面をかき上げる作業を行っていた。被災者は、碎石を降ろす場所を指示しようとして作業中のドラグ・ショベルの後方に立ち入ったため、後退してきたドラグ・ショベルにひかれた。
10 11	高知	24. 10. 27 (13:55)	土木工事業	49歳 (男) 63歳 (男)	おぼれ (その他の 建設機械等)	下水道建設工事において、泥濃式推進工法で掘削をしていたところ、大量の水とともに土砂が噴出して2名の作業員が生き埋めとなった。
12	須崎	24. 10. 31 (07:05)	土木工事業	25歳 (男)	交通事故 (乗用車)	工事のために借りていたトラック2台を返却するため、車3台（レンタルのトラック2台、乗用車1台）で走行していたところ、乗用車を運転していた被災者が走行中に反対車線にはみ出し、対向してきたトラックと正面衝突した。
13	高知	24. 11. 29 (09:40)	土木工事業	59歳 (男)	激突され (立木等)	作業道路開設に伴い桜の立木（幹の直径は約50センチメートル、高さは約8メートル）を伐採するため、チェーンソーで幹を半分ほどまで切ったところ、突然切り口の上部が裂けて倒れ、伐倒作業を行っていた被災者が木の下敷きとなった。
14	高知	25. 1. 9 (09:00)	その他の建築 工事業	56歳 (男)	墜落・転落 (掘削用機械)	建築物の解体工事において、ドラグ・ショベル（機体質量1.4トン、バケット容量0.044立方メートル、ヘッドガードなし）を4階から3階フロアへと屋内階段を使って移動させようとしていたところ、ドラグ・ショベルが前のめりに転落。階段の踊り場で、運転者が4階フロアの鉄骨とドラグ・ショベルの座席背もたれに挟まれた。
15	四万十	25. 1. 16 (10:00)	その他の土木 工事業	52歳 (男)	飛来・落下 (荷姿のもの)	仮設道路を設置する作業において、覆工板（2メートル×1メートル×0.2メートル、約370キログラム）をドラグ・ショベルを用いて吊り上げ、4トン積みダンプ・トラックの荷台に積み込んだ直後、既に荷台に積んであった覆工板が傾き、荷台にいた被災者がバランスを崩して地上に墜落したところに荷台の覆工板が落下してきて、被災者を直撃した。

16	四万十	25. 8. 20 (15:30)	その他の土木 工事業	42歳 (男)	高温の物と の接触 (高温環境)	地質ボーリング作業中に突然倒れこみ、大量に汗をかき意識もなかったため、救急車で病院へ搬送されたが、当日夜死亡した。
17	四万十	25. 9. 9 (9:20)	道路建設工事 業	67歳 (男)	墜落・転落 (掘削用機械)	ドラグ・ショベルを運転して幅約3メートルの林道の延伸作業を行っていたところ、突然作業道の路肩が崩壊しドラグ・ショベルごと約27メートル下の谷に転落した。
18	四万十	25. 10. 17 (11:10)	道路建設工事 業	61歳 (男)	墜落・転落 (地山、岩石)	道路改良工事現場で山側法面の掘削作業中、突出した支障岩を破砕葉を用いて破砕するにあたり、ドラグ・ショベルを用いて飛散防止のため布製シートを岩に設置しようとしたところ、対象の岩の横でドラグ・ショベルの運転手に指示を行っていた被災者の方に石(約50センチメートル四方)が転がってきて、石と一緒に約13メートル下の道路面に転落した。
19	高知	26. 2. 6 (5:25)	土木工事業	30歳 (男)	交通事故 (トラック)	夜間作業を終え、一人でトラックを運転し帰社する途中、道路脇の街路樹に衝突した。
20	須崎	26. 8. 25 (13:15)	土木工事業	64歳 (男)	激突され (立木等)	台風により道路に倒れた風倒木の除去作業で、倒れている椎をチェーンソーで玉切中、被災者の3m上方に生えていた椎(胸高直径27cm、長さ12.5m)が、突然根こそぎ倒れ直撃した。
21	安芸	26. 10. 8 (16:05)	建築工事業	61歳 (男)	墜落、転落 (足場)	鉄筋コンクリート造建築工事で、桝組足場の組み立て作業中、1層目の布桝上で、2層目の布桝を設置した後、桝面側の地面に墜落した。
22	高知	26. 12. 22 (15:20)	建築工事業	59歳 (男)	墜落、転落 (屋根、はり、もや、けた、合掌)	工場新築工事で、鉄骨の組み立て作業中、桁の上を移動していたところ、8m下のコンクリート床へ墜落した。
23	高知	27. 2. 20 (10:25)	道路建設工事 業	56歳 (男)	墜落、転落 (移動式クレーン)	道路改良工事において、ホイールクレーンで重さ3.6tの既製品の擁壁を吊り、旋回したところ横転し、道路から3m下へ転落した。
24	高知	27. 8. 31 (13:20)	道路建設工事 業	56歳 (男)	激突され (立木等)	道路復旧工事において、支障木(杉、胸高直径64cm)の幹にワイヤロープを取り付けチルホールで山側に控え、チェーンソーで伐倒していたところ、予定と違う方向に倒れ激突された。
25	高知	28. 3. 23 (7:53)	土木工事業	31歳 (男)	その他 (起因物なし)	岸壁に係留して待機中の浚渫船内において、船舶整備等の作業に従事していた被災者が、甲板上で脳・心臓疾患を発症し突然倒れた。 発症前2～6か月の間に月平均80時間を超える時間外労働が認められた。
26	高知	28. 4. 13 (13:05)	建築工事業	66歳 (男)	墜落、転落 (屋根等)	木造住宅改築工事において、1階屋根の瓦棧固定作業中、軒先から足を踏み外し3.3m下の地面に墜落した。

27	高知	28. 7. 29 (15:35)	土木工事業	81歳 (男)	墜落、転落 (地山)	道路災害復旧工事において、法面上の排水用ビニールホースのねじれを7名で直していたところ、ねじれが解消されると同時にホース内に水が一気に流れ、被災者が当該ホースに弾き飛ばされて約5m下の地山斜面上（勾配約43度）に墜落した後、地山斜面上を約17m下の斜面まで転落した。
28	四万十	28. 9. 15 (15:30)	土木工事業	64歳 (男)	激突され (移動式 クレーン)	漁港工事において、長さ8.5m幅43cmの鋼矢板18枚（約9t）を束ねクローラークレーンで吊り上げ仮置きしていたところ、荷の受け取りを行っていた被災者に吊り荷が当たった。
29	安芸	28. 11. 10 (11:05)	建築工事業	73歳 (男)	墜落、転落 (建築物、 構築物)	避難タワー建設工事において、作業場所へ移動中、躯体と外部足場の間から高さ2.7m下の地面に墜落した。
30	須崎	28. 12. 2 (15:35)	土木工事業	78歳 (男)	飛来、落下 (立木等)	道路建設工事の先行伐採において、被災者が椎の木（胸高直径42cm）を伐倒したところ、上方で絡んでいた桜（胸高直径45cm）の枝が折れて落下し、下敷きになった。
31	四万十	29. 9. 16 (10:35)	土木工事業	49歳 (男)	墜落・転落 (足場)	橋梁修繕工事のつり足場撤去作業において、つり足場上に集積した足場板を橋梁上に設置した移動式クレーンでつり上げるため、玉掛けを行おうとしたところ、安全帯を掛けていたつり足場の手すり及び集積していた足場板とともに、約20m下の河原に墜落した。
32	安芸	29. 9. 29 (13:35)	建築工事業	21歳 (男)	墜落・転落 (足場)	体育館吊り天井改修主体工事において、枠組足場組立の補助作業を足場上で行っていたところ、体育館の梁に頭をぶつけた際にバランスを崩し、高さ約15.7m下の床に墜落した。
33	高知	29. 10. 3 (11:20)	建築工事業	73歳 (男)	墜落・転落 (屋根等)	木造家屋の解体工事現場において、平屋部分の屋根上で瓦の撤去作業を行っていたところ、軒先から約2.5m下の地面に墜落した。
34	須崎	30. 1. 19 (9:00)	土木工事業	64歳 (男)	激突され (立木等)	宅地造成工事の先行伐採において、植林された落葉高木（樹高約15メートル、胸高直径約23センチメートル）を被災者がチェーンソーを用いて伐倒中、同高木の幹が裂けながら倒れ、頭部に激突した。
35	四万十	30. 4. 11 (16:40)	建築工事業	58歳 (男)	墜落・転落 (屋根)	工場解体工事において、屋根上で波型スレートの取り外し作業中に出来た開口部から、約9メートル下のコンクリート床に墜落した。
36	安芸	30. 7. 18 (10:20)	建築工事業	43歳 (男)	墜落・転落 (掘削用機械)	農業用ビニールハウスの建築工事において、小型のドラグショベルを用いて水路の法肩付近で掘削作業を行っていたところ、ドラグショベルとともに約2メートル下の水路に転落した。
37	高知	30. 11. 2 (15:00)	建築工事業	42歳 (男)	飛来・落下 (荷姿のもの)	水路沿いの電柱の撤去作業を行うため、撤去した電柱を貨物自動車まで運搬する作業中、田の畦で動かなくなった電柱に対して手工具を使って作業を行っていた際にバランスを失って60センチメートル下の水路に転落。その際に、運搬していた電柱が被災者に落ちてきて下敷きとなった。



38	須崎	31. 2. 6 (8:10)	土木工事業	72 歳 (男)	墜落・転落 (クレーン)	ケーブルクレーン (つり上げ荷重 1. 4 トン) による運搬作業中、主索を横引きしていた滑車が破損し主索等が落下した。これにより、ウインチを控えていたワイヤロープが破断してウインチが前方に飛ばされた。その際、ウインチの運転席にいた被災者が 5. 8 メートル下の河川に墜落した。
39	須崎	31. 3. 1 (13:10)	建築工事業	36 歳 (男)	飛来、落下 (移動式 クレーン)	通信用の鉄塔を建設する工事において、基礎となる立坑を掘削中、移動式クレーン (つり上げ荷重 2. 37 トン) を用いて、立坑内部の土砂を入れた容器を巻き上げていたところ、巻上用ワイヤロープが切断して吊り荷とフックが落下。立坑の底部で作業をしていた被災者を直撃した。
40	四万十	元. 7. 12 (10:15)	土木工事業	29 歳 (男)	飛来、落下 (クレーン)	ケーブルクレーン (つり上げ荷重 2. 9 トン) の解体中、滑車 (重さ約 100 キログラム) が主索から脱落し落下、下方で擁壁のモルタル塗り作業をしていた被災者の頭部を直撃した。
41	高知	元. 9. 24 (09:30)	土木工事業	64 歳 (男)	墜落・転落 (トラック)	林道の改良工事において、土砂を運搬していたダンプトラックが、林道の路肩から約 12 メートル下に転落した。
42 43	高知	元. 12. 11 (17:45)	建築工事業	35 歳 (男) 26 歳 (男)	交通事故 (乗用車)	建設現場から帰社するために、ワゴン車で片側 1 車線の高速道路を走行中、対向車線にはみ出し大型トラックと正面衝突した。